

## 令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	知力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日1時間以上家庭学習に取り組む生徒60%以上</li> <li>・テスト前学習実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年42.2% 2年51.1% (第2回ステージレポート)</li> <li>3年36.4% (11月学校アンケート)</li> <li>・各学年ともテスト前の放課後学習を実施した</li> </ul>	C	各教科での家庭学習を促す働きかけの工夫が必要 生徒は定期テストに向けて取り組んだ
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目の11月模試のSSが、特進は50以上、看護及び一般は40以上</li> <li>・授業改善月間を年2回実施</li> <li>・ICTを活用したAL型授業の公開1人年2回以上実施。</li> <li>・全教員が観点別評価を実施する。</li> <li>・英検受験100人、料理検定等受験20人、漢字検定受験30人、情報処理検定受験10人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特進クラス：未達成</li> <li>一般クラス：概ね達成</li> <li>・授業改善月間は年2回実施した。</li> <li>・アンケートでは「授業改善、授業公開、授業評価に積極的に取り組んでいる」教員は73%、「ICT活用した授業をおこなっている」教員は95%、「AL型授業を実施している教員」は84%であった</li> <li>・英検受験67人、料理検定等受験49人、漢字検定受験45人、情報処理検定受験1人</li> </ul>	C	特進クラスの学力伸長の手立てが課題 ALなど授業改善を実践した83.8%。ICT活用の授業を実践した94.6% 観点別評価への理解が深まった 評価方法や指導方法、評価規準の見直しを常に続けていく必要がある 1年生の全教科が観点別評価へ移行した
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・測定ツールでの結果を検証し、授業改善に取り組んだ教員80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果からは全教員が授業改善に取り組んだが、測定ツールを活用していない者もいた</li> </ul>	B	授業改善の取組を各教科の目標の中に適切に位置づける必要がある。
	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生新体力テスト春→秋記録の伸び割合50%以上</li> <li>・体育やスポーツ及び心身の健康に関する意識の向上を実感する割合60%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・82.1%</li> <li>・97.7%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・264名実施中217名が総合得点の伸びを見せた。</li> <li>・264名実施中258名が健康に関する意識の向上を実感している</li> </ul>
		心力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート「部活動に熱心に取り組んでいる」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「強くそう思う」、「そう思う」で80(昨年73.8)%が熱心に取り組んでいると回答した</li> </ul>	A

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書貸し出し数1人年間4冊以上</li> <li>・朝読書に積極的に取り組んでいる70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出数平均は1.7冊であった</li> <li>・図書館移転作業に伴う新刊図書の購入控えや、自分で購入した本を読む生徒が多いことも影響していると思われる。</li> <li>・朝読書についてのアンケートは88%の生徒が「だいたい」も含め「積極的に取り組んだ。」と回答した</li> </ul>	C	<p>本の紹介を再開していく。仮設図書館も狭いので図書貸出し数ではない新たな目標を設定する</p> <p>朝読書により落ち着いて日々の学校生活を開始することができていた。朝読書の目的をどこに置くか、毎日実施については教員・生徒間でもさまざまな意見がある</p>
イ	グローバルリーダーの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンソーシアム会議年間2回以上</li> <li>・各学年、地域連携企画または進路ガイダンス等外部の話聞く会、開催年2回以上</li> <li>・コンソーシアム各機関への情報提供各学期1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回実施(参集1回、紙面会議1回)</li> <li>・各学年とも実施することができた</li> <li>・コンソーシアムの各機関へは随時情報提供を行った</li> </ul>	A	<p>コロナ禍の影響で日程調整に苦労した後援会やワークショップの講師の人選に労力がかかる</p> <p>地域連携企画についてはNPOとの連携も含め、教育効果が高い探究活動が充実した</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期1回以上、生徒相互による身装セルフチェック(BRUSH UP DAY)の実施</li> <li>・外部講師の身装指導講話年間1回以上・遅刻1日学年平均3人以下</li> <li>・生徒、保護者向け講話1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身装チェックとセルフチェックをそれぞれ学期に1回実施</li> <li>・企業の方を招いて身装講話を1回実施</li> <li>・遅刻1日学年平均は1年生1.0、2年生1.3、3年生2.5</li> </ul>	B	<p>セルフチェックでは、生徒の規範意識に任されるため、いい加減になりやすく、効果を上げることに課題を残した</p> <p>今年度から時差登校を無くし、全学年登校時間を合わせたが、大きな問題もなかった</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部活動一地域貢献の実施</li> <li>・全校生徒が年間1回以上ボランティア活動実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人や部活動としてボランティアに参加したことがあると答えた生徒は56.4%であった</li> </ul>	B	<p>コロナ禍で全部活動がボランティアを実施はできなかったが、「はな金ボランティア」に積極的に参加する生徒も見受けられ、多くの生徒の日常生</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故10件以下と違反件数の前年比半減</li> <li>・メディアポリシー違反0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故4(昨年14)件で減少、指導カード&lt;イエローカード&gt;37(昨年65)件で減少した。</li> <li>・スクールネットパトロール報告4件</li> </ul>	B	<p>活にボランティアを意識づけられた</p> <p>交通事故、イエローカードともに減少しているが、事故0を目指して、引き続き交通安全・マナーを呼び掛けていく</p> <p>ネットパトロールではリスクの高い報告</p>

様式第3号

					はないが、定期的に注意喚起を実施する
		・「保健だより」隔月発行、朝食摂取率95%以上、治療率70%以上	・8回発行を実施できた朝食摂取率97.3% 総合的な治療率54.4%	A	治療率UPは保護者の協力が不可欠であるので担任との連携を強化したい
		・生徒アンケート「学校行事に積極的に参加」80%以上	・「かなりそう思う」、「そう思う」で90.4%（昨年87%）と回答している	A	文化祭ではコロナ禍の中で、工夫して行うなど、生徒会よく頑張っていて取り組んだ引き続きの感染対策を講じた文化祭の開催を目指していく
ウ	教職員相互及び地域との連携の強化	・授業改善月間中、公開授業及び授業参観に積極的に取り組む。（各回2回以上参観） ・授業がわかりやすいと答える生徒が70%パーセント以上	・授業参観数の平均は前期1.4回、後期1.8回 ・学校生活アンケートで「授業はわかりやすいか？」の問いに「かなりそう思う」「そう思う」と回答生徒が75%パーセント以上であった	B	業務が多忙で参観できなかったという声もあった 授業参観は1時間全部を見るのではない形も可としたい わかりやすさと同時に、学力向上に意識を向けていく
		・不祥事根絶及び体罰0	・不祥事体罰事犯0件	A	適時の情報提供と定期的な自己点検等により大きな問題は起きなかった
		・「教育相談だより」の定期的発行。「自己診断シート」の学期ごとの実施・担任及び副担任による教育相談の実施。	4回発行し目標を達成。自己診断シートの活用により必要のある生徒全員と面談を実施	A	今後も活動を継続することでカウンセリングへの抵抗感を軽減したい
		・中学生一日体験入学参加者数1,000名以上 ・週1回以上のツイッター更新 ・学校広報紙の企画・制作 ・運営委員等の中学校訪問年4回以上	・参加者574名(生徒330) ・適時にツイッターは更新された ・グローバルカレンダーを作成した ・運営委員一人が2校の中学校を訪問した	B	目標人数には達しなかったが、本校の良さを出すことができた 運営委員の中学校訪問により学校の課題共有が進んだ
		・地域防災連絡会の参加	・校長が参加(担当者は修学旅行)	A	本校の防災計画の発表、台風15号災害時の地域への水配布のような活動を今後も継続することを表明

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・絆メール等を活用したPTA会員の連絡の試行</li> <li>・PTA地区会を各学年での実施へと変更する</li> <li>・PTA会員のツイッター登録60%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA活動が実施直前での中止連絡等で活用</li> <li>・PTA総会後に地区別懇談会を開催</li> <li>・PTA総会等でツイッター登録を呼びかけた（登録者数は約500件）</li> </ul>	A	コロナによるPTA活動全面休止状態から徐々に回復し、積極的に取り組んでいた
エ	教育環境整備の推進及びICT教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全員清掃活動の実施</li> <li>・職員安全衛生委員会の定期的開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な姿勢で清掃活動に臨めた。</li> <li>職員衛生委員会は後半実施できなかった</li> </ul>	A	衛生委員会は課題が発生した場合は迅速に実施していく
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算執行状況を定期的に確認し、対応を促す</li> <li>・安全、安心な学校生活の保障として法定点検での不備指摘前年比10%減</li> <li>・検査における文書指示事項なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・執行状況を四半期ごとに確認した</li> <li>・前年度指摘事項の4割を解消できた点検もあったが、老朽化により新たな指摘事項が生じたため、前年度比7.7%減に留まった</li> <li>・文書指示事項はなかった</li> </ul>	B	電気料金高騰により予算の管理が困難であったが、引き続き不備指摘事項を解消したい。また、適正な会計処理を継続したい
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新1年生の9月からの導入実施</li> <li>・Googleアカウントを校務に活用できる教員70%以上</li> <li>・Google Classroomを活用できる教員80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の一人一台を端末を9月から導入。</li> <li>・Google Classroomを全ての担任が活用できるようになったほか、教科の担当者が授業で活用できるようになってきた</li> </ul>	A	ICT機器を教師の教具としてだけではなく、生徒の学習道具として活用できる教員を増やす
オ	ワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日20時までの完全出勤70%以上</li> <li>・各学期面談実施率100%</li> <li>・各分掌による業務改善の推進、一分掌1業務改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繁忙期には20時を超えてしまうことがしばしばあった</li> <li>・会計年度任用職員も含め全職員と面談を行った</li> <li>・分掌ごとに業務の改善をおこなった</li> <li>・全ての教員が時間外勤務、月45時間以内を達成することは、厳しかった</li> </ul>	B	時間外勤務の縮減について、共通理解が進んでいる 個人により仕事量が異なるため、一律に月45時間以内を求めるのは困難である